

アザミウマは止める。 天敵は活かす!

野菜散布用殺虫剤

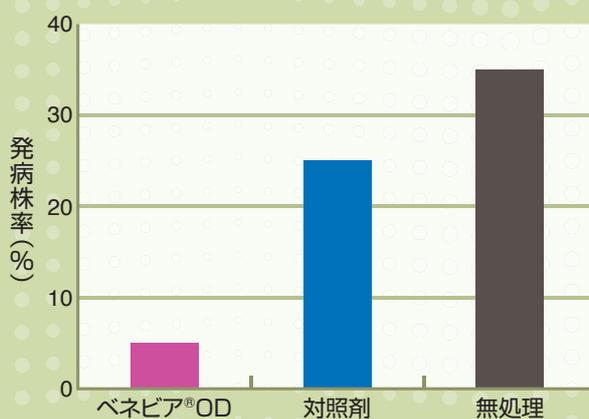
ベネビア[®] OD

powered by

CYAZYPYR[®]
ACTIVE INGREDIENT



1 黄化えそ病の媒介抑制効果



ミナミキイロアザミウマ

【試験概要】
2016年 佐賀県農業試験研究センター
品 種：きゅうり(ときわ333)
区 制：1区10株
処理日：1回目 4月10日播種、4月24日薬剤散布、
4月27日放飼
2回目 4月30日播種、5月11日薬剤散布、
5月18日放飼
処 理：苗にハndsプレーを用いて、各供試薬剤
を1回、展着剤を加用せず十分量散布した。
調査日：5月8日

2 天敵に対する高い安全性

スワルスキーカブリダニ等に対し高い安全性を有するので、天敵導入に影響なし。IPMプログラムに組み込むことが可能です。



アザミウマ幼虫を捕食する
スワルスキーカブリダニ
写真提供：アリストライフサイエンス(株)



■適用害虫と使用方法(適用表から一部抜粋)

2019年7月現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロロールを含む農薬の総使用回数
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類 ウリノメイガ	2000倍	100~300 ℓ/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの処理は 1回以内、 定植後の散布は3回以内)
	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類						
ピーマン	オオタバコガ	2000~4000倍					

その他の登録作物：トマト、ミニトマト、いちご、キャベツ、はくさい、だいこん、ブロッコリー、レタス、えだまめ、だいず、ねぎ、たまねぎ、やまのいも、かんしょ、ばれいしょ、かぼちゃ、たばこ

■混用事例(きゅうり・ピーマンのみ抜粋)

2019年7月5日現在

殺菌剤	きゅうり	ピーマン	殺菌剤	きゅうり	ピーマン	殺虫剤	きゅうり	ピーマン	展着剤	きゅうり	ピーマン
アフエット(FL)		●	フォリオゴールド	×		アグロスリン(乳)	●		アプローチBI	●	●
アミスター 20(FL)	●	●	フルピカ(FL)	●		アドマイヤー(FL)		●	スカッシュ	●	●
カーゼートPZ(水)	●		プロポーズ(WG)	×		カネマイト(FL)		●	ニーズ	●	●
カリグリーン(溶)		●	ベジセイバー	×	●	コルト(WG)	●		ブレイクスルー	●	●
カンタス(DF)	◎	◎	ベルクート(FL)	●		コロマイト(乳)		●	まくぴか	●	●
ゲッター(水)	●		ベルクート(水)	●		サンクリスタル(乳)		●	ミックスパワー	●	●
サブロール(乳)	●	●	ベンコゼブ(FL)	●		サンマイト(FL)		●			
シグナム(WG)		●	ベンレート(水)	●		スタークル/アルバリン(SG)	●				
ジマンダイセン(水)	●		ポトキラー(水)		●	スターマイト(FL)		●			
ジャストフィット(FL)	●		ポトピカ(水)	●	●	トレボン(乳)		●			
スコア(WG)		●	ホライズン(DF)	●		ハチハチ(乳)		●			
ストロビー(FL)	●	●	ポリオキシAL(乳)		●	マイトコーネ(FL)	●	●			
スミレックス(水)	●	●	ポリオキシAL(溶)	●		モスピラン(溶)	●	●			
セイビア20(FL)	●		ポリベリン(水)	●		ランネット45(DF)		●			
ダイヤモンド(水)	●		ライメイ(FL)	●	●						
ダコニール 1000(FL)	×	●	ラリー(水)		●						
トップジンM(水)	●	●	ランマン(FL)	●	●						
トリフミン(水)	●	●	リドミルゴールドMZ	●							
ハーモメイト(溶)		●	ルビゲン(水)		●						
パンチョTF(WG)	●	●	レーバス(FL)		●						
ファンタジスタ(WG)	●		ロブラール(水)	●	●						
ファンベル(WG)	●										

【記号の説明】
 ●：混用して問題なかった
 ◎：使用直前の混用なら問題なかった
 ×：混用できない

【略称の説明】
 (乳) 乳剤
 (水) 水和剤
 (溶) 水溶剤
 (DF) ドライフロアブル剤
 (FL) フロアブル剤
 (WG) 顆粒水和剤
 (SG) 顆粒水溶剤

●印は試験を実施し、混用して問題がなかった事例*です。新たな情報が得られた場合には、●印の薬剤が追加されることがあります。
 (*：品種、栽培条件、使用濃度、使用時期などにより結果が異なる可能性があります。したがって、本表で●であっても「薬害がない」ということを保証するものではありません。あくまでも混用知見の一例として考えていただきますようお願いいたします。)

■使用の際の注意事項(使用上の注意事項より一部抜粋)

- やむを得ず、他の薬剤と混用する場合には、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。特に、銅剤との混用は薬害を生じるおそれがあるので、混用はしないでください。
- きゅうりに使用する場合、TPNを含む農薬との混用は薬害を生じるおそれがあるので、混用はしないでください。

●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。
 ●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記載しましょう。

©2019 FMC Corporation. All Rights Reserved. FMC、FMCロゴ、®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。

